

平成21年度

事業報告書

自 平成21年4月 1日  
至 平成22年3月31日

財団法人 健康医学予防協会

## 公益事業

### 1. 調査研究部門

平成21年度骨粗鬆症骨折患者における片脚立ち訓練の有効性についての報告

#### 「運動器不安定症後期高齢者における開眼片脚立ち訓練の転倒におよぼす効果 —高齢者の骨折予防に向けて—」

##### 1. 研究目的

高齢化社会の到来により、介護予防対策はますます重要になっている。介護要因として転倒・骨折が占める割合が増加しており、高齢者における運動機能の低下が転倒リスクを増大させることから、運動療法として特にバランス訓練が転倒予防効果を持つことが報告されている。本研究では運動器不安定症により転倒のハイリスク者における開眼片脚立ち訓練の効果について前向き転倒の転倒発生調査から検討した。

##### 2. 研究方法

運動器疾患により外来通院中の患者のうち、開眼片脚立ち時間が両側とも15秒未満の後期高齢女性42名（平均年齢81±4歳）について、6ヶ月間の転倒の発生状況を2週間または1ヶ月ごとの外来診察時に直接聞き取り調査を行ない、転倒発生状況を前向きに調査した。全員に開眼片脚立ち訓練の実施を指導するとともに日誌を配布して訓練実施の確認を行ない、その記録から開眼片脚立ち訓練群と非訓練群の2群に分類し、それぞれの転倒発生数から転倒と開眼片脚立ち訓練の関係について検討した。

##### 3. 結果

1年間の転倒発生者は全体で14名33.3%であった。開眼片脚立ち訓練は1回1分間を両側で、1日3回行った。訓練の実施率が80%以上者を訓練群として採用した。開眼片脚立ち訓練群22名（平均年齢81±3歳）、非訓練群20名（平均年齢81±4歳）であった。調査開始時の開眼片脚立ち時間（左右の平均値）は開眼片脚立ち訓練群4.8±2.5秒、非服用群4.5±3.1秒、と服用群でわずかに大きい傾向が見られたが有意な差はなかった。

今回の研究開始前過去1年間の転倒経験は問診表によって確認したところ、開眼片脚立ち訓練群4名18%、非訓練群6名30%でもともと非訓練群に少ない傾向があった。観察6ヶ月間の新規転倒発生は開眼片脚立ち訓練群3名14%、非訓練群5名25%であり、開眼片脚立ち訓練群で有意に（ $p<0.05$ ）転倒が少ない結果が得られた。

##### 4. 考察

運動器不安定症の診断における運動機能の評価基準では開眼片脚立ち時間が重視され15秒未満をカットオフと設定している。今回の対象者は運動器疾患を有して開眼片脚立ちが15秒未満の後期高齢者であることから転倒のハイリスクグループであり、調査開始時の1

年間の転倒発生率は30%を超えていた。高齢者の転倒予防に様々な運動療法が近年多く報告され、その結果としてバランス訓練の効果が大きいことが注目されている。開眼片脚立ち訓練はフラミンゴ療法と呼ばれ、簡便に場所をとらず、安全性の高い訓練方法であり、バランスとともに筋力の向上にも関与する訓練法と考えられる。開眼片脚立ち訓練が高齢者の運動機能の向上による転倒リスクの軽減に繋がることが期待されており、今回の研究結果はその有効性を示している。

## 5. まとめ

開眼片脚立ち時間が15秒未満の後期高齢女性42名について、6ヵ月間の転倒の発生状況の聞き取り調査を行ない、転倒発生を前向きに調査した。開眼片脚立ち訓練の有無と転倒発生率の関係について検討した。6ヵ月間の転倒発生者は開眼片脚立ち訓練群で有意に ( $p<0.05$ ) 転倒が少なかった。以上より開眼片脚立ち訓練が転倒リスクの減少効果を示すことが示唆された。

## 2. 健康診断、診療部門

史上最大の倒産と言われた、一昨年12月のリーマンショック以来、一部の国を除き世界経済、国内経済ともに冷え切り、戦後最悪の経済状況となっております。

厳しい経済状況の中で、政権交代があり、旧政府、新政府の経済対策の押し上げもありアジア向け輸出の増加が一部に見られ、一部特定な業種に於いて持ち直しが見られたものの景気は大変厳しい状況が続いています。

県内企業の景況感としては、下降傾向で推移し企業収益は減益見通しとなっている。又観光面においては45年前の新潟地震以来の新潟国体が開催され多くの役員、選手、応援団が秋晴れの越後路に集い、その結果NHK大河ドラマ天地人の放映効果もあり、全国的にも観光面では高い伸びを示した。

このような厳しい状況下の中、様々な変化に対応した事業展開を進めてまいりました。

健診事業におきましては、受診者に対し満足度の更なる向上を目指し、各部共に各種研修会、講演会等に積極的に参加し、知識・技能の向上のため資格取得に努めさせ、その結果多くの受診者より高い信頼・安心が得られたものと理解しております。

積極的な事業展開の結果、運営面では事業収入の増加に努めたことは勿論、無駄の排除を徹底し経費の削減に全役職員が取り組みました。

長岡健康管理センターに於きましては、施設、スタッフ関係ともに充実し、事業継承3年が経過する中で中越、上越、魚沼地域における認知度も高まり結果として一般健診、人間ドックの受診者数も増加し、結果売上前年対比40.1百万円の増加となり着実な成果が出ているものです。

また施設内一般検診、人間ドックの受診者も順調に増加し、一般健診では前年比1,779名の増加、人間ドックでは432名の増加となり合計2,211名の増加となりました。

各部における活動状況につきましては、企画管理部ではは事故の発生防止と効率的な巡回検診計画の策定等に努めてまいりました。

健診部に於いてはスタッフ、機器の充実と知識・技術・能力の向上に努め更には接遇・応対に関する教育の徹底の結果毎月集計しておりますアンケート結果は良好な評価を得ているものです。

21年度の当財団の業績につきましては年間売上額が予算を若干下回りましたが、ほぼ計画どおりとなりました。

一方では、施設内検診が堅調に推移し、前年比5,056名の増加、内訳として一般健診3,559名、人間ドック1,497名の増加となりました。

人間ドックにつきましては、売上げが前年比20.22%増の3億8,054万円、施設健診は同11.23%増の6億5,449万円となりました。

また、外来診療も前年比16.92%増の2,021万円となりました。

反面、巡回健診が不況、雇用者の減少等により前年比1.67%減の9億7,386万円となりましたがその結果、今年度の売上高は前年比5.99%増の20億3,982万円となり、営業利益は前年比で△77,957千円の179,575千円の減益、経常利益も前年比△60,103千円の165,581千円の減益となりました。

### (1) 学校集団検診実績

平成21年度の学校集団検診の実績ですが、20年度実績と比較しますと尿検査、貧血検査が減少しました。

(単位:人数)

項目	20年度	21年度	前年比較
尿検査	10,334	9,953	△ 381
貧血検査	1,417	1,403	△ 14
心電図検査	5,109	5,186	77
胸部レントゲン検査	4,151	4,210	59

### (2) 事業所検診実績

事業所検診におきましては安全衛生規則による定期健康診断が減少しましたが他の成人病検診、特殊健診は増加となりました。

(単位:人数)

項目	20年度	21年度	前年比較
労働安全衛生規則による定期健康診断	96,378	93,374	△ 3,004
成人病検診(胃部健診を含む)	77,731	81,320	3,589
特殊健診 (有機溶剤、鉛、じん肺、特化物、石綿等)	15,376	15,630	254

### (3) 施設内一般健診・月別ドック受診数年間推移

20年度、21年度の月別受診者の計数ですが、新潟、長岡ともに順調に増加しており今後も増加が十分期待できるものです。

合計

(単位:人数)

月年度	20年度				21年度					
	一般	前年比	ドック	前年比	一般	前年比	増加率	ドック	前年比	増加率
4月	4,382	836	392	△ 35	4,596	214	4.88%	487	95	24.23%
5月	4,916	1,063	654	106	4,960	44	0.90%	706	52	7.95%
6月	5,083	394	1,130	133	5,536	453	8.91%	1,197	67	5.93%
7月	5,169	757	1,082	195	5,668	499	9.65%	1,206	124	11.46%
8月	3,851	768	778	105	4,591	740	19.22%	1,008	230	29.56%
9月	4,276	908	741	124	4,244	△ 32	△ 0.75%	804	63	8.50%
10月	5,589	439	807	92	5,902	313	5.60%	1,032	225	27.88%
11月	4,562	670	800	217	4,918	356	7.80%	905	105	13.13%
12月	2,182	417	432	65	2,442	260	11.92%	582	150	34.72%
1月	2,070	334	443	180	1,889	△ 181	△ 8.74%	539	96	21.67%
2月	3,109	165	513	△ 14	3,572	463	14.89%	683	170	33.14%
3月	2,540	175	408	△ 112	2,970	430	16.93%	528	120	29.41%
合計	47,729	6,926	8,180	1,056	51,288	3,559	7.46%	9,677	1,497	18.30%

#### (4) 人間ドックアンケート（誘導・案内・職員対応）

アンケート結果を分析してみますと誘導・案内、職員対応ともに受診者より高い評価を得ており、今後も親切丁寧な対応と、明るい笑顔ある誘導・案内、対応を指導徹底します。

(単位:人数)

	誘導・案内					職員対応				
	良い	普通	悪い	未回答	月計	良い	普通	悪い	未回答	月計
4月	240	52	3	0	295	262	32	1	0	295
5月	313	61	0	0	374	327	47	0	0	374
6月	537	80	4	0	621	566	52	0	3	621
7月	491	56	0	0	547	499	47	1	0	547
8月	418	35	0	0	453	425	28	0	0	453
9月	361	26	0	0	387	366	18	0	3	387
10月	438	54	0	0	492	451	39	0	2	492
11月	369	37	1	4	411	379	32	0	0	411
12月	246	23	1	0	270	251	19	0	0	270
1月	216	26	1	1	244	221	23	0	0	244
2月	243	33	1	1	278	249	29	0	0	278
3月	227	23	0	1	251	230	21	0	0	251
合計	4,099	506	11	7	4,623	4,226	387	2	8	4,623

#### (5) 平成21年度月別インターネット予約状況

平成21年3月よりインターネットでの予約業務を開始しましたがまだ月間平均20件程度ですが、今後も積極的な取り組みを推進してまいります。

(単位:人)

	予約件数・内訳			健診内容				
	件数	男性	女性	人間ドック	生活習慣	Aコース	Bコース	協会けんぽ
4月	19	13	6	9	1	2	1	6
5月	29	16	13	12	9	6	0	2
6月	21	12	9	16	1	3	1	0
7月	18	8	10	9	1	6	0	2
8月	16	6	10	7	3	5	0	1
9月	18	11	7	9	1	5	0	3
10月	27	9	18	10	0	11	6	0
11月	18	10	8	10	1	4	2	1
12月	20	9	11	14	0	5	1	0
1月	26	17	9	18	0	6	2	0
2月	19	11	8	6	3	10	0	0
3月	17	5	12	11	0	4	2	0
合計	248	127	121	131	20	67	15	15

## (6) 業績推移

売上高、月商、売上総利益、営業利益、経常利益全て対前年を上回っており、今後も良好な業績の維持に努めます。

(単位:千円)

	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期
売上高	1,101,816	1,223,741	1,701,910	1,924,459	2,039,827
月商	91,818	101,978	141,826	160,372	169,986
売上総利益	472,756	519,800	723,040	808,161	853,913
営業利益	147,658	177,703	243,312	257,532	179,575
経常利益	127,258	161,335	204,650	225,684	165,581

## (7) 受診形態別売上

前年対比では施設健診、人間ドック、外来診療が順調に売上げを伸ばした反面、巡回健診、学校健診が不振に終わりました。

(単位:百万円)

	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	前年比 増減額	増減率
巡回健診	855.4	908.7	990.4	973.9	△16.5	△1.67%
施設健診	190.1	496.5	588.4	654.5	66.1	11.23%
学校健診	20.0	16.6	11.8	10.7	△1.1	△9.24%
人間ドック	145.0	262.3	316.5	380.5	64.0	20.23%
外来診療	13.2	17.8	17.3	20.2	2.9	16.87%
計	1223.7	1701.9	1924.4	2039.8	115.4	6.00%

## (8) 月別売上高計画及び実績(全体分)

期初4月、5月のスタートで大きく出遅れましたがその後、11月、12月、22年1月、2月、3月と後半尻上がりに回復した結果、当初計画しました売上予算を若干下回りましたがほぼ計画どおり売上を達成できました。施設健診、人間ドックが順調に売上を伸ばしました。

(単位:百万円)

(単位:百万円)

20年度	予算額	実績額	対比	達成率
20年 4月	171.9	167.4	△4.5	97.4%
5月	204.0	199.3	△4.7	97.7%
6月	245.4	238.4	△7.0	97.1%
7月	208.1	237.1	29.0	113.9%
8月	155.9	164.9	9.0	105.8%
9月	187.8	195.7	7.9	104.2%
10月	225.5	236.6	11.1	104.9%
11月	161.5	172.0	10.5	106.5%
12月	61.3	71.2	9.9	116.1%
21年 1月	44.0	66.3	22.3	150.7%
2月	92.4	94.4	2.0	102.2%
3月	79.2	81.3	2.1	102.6%
計	1837.0	1,924.4	87.4	104.8%

21年度	予算額	実績額	対比	達成率
21年 4月	191.8	168.3	△23.5	87.7%
5月	217.3	183.9	△33.4	84.6%
6月	250.8	269.7	18.9	107.5%
7月	249.9	253.4	3.5	101.4%
8月	180.9	205.0	24.1	113.3%
9月	223.4	200.0	△23.4	89.5%
10月	258.1	229.5	△28.6	88.9%
11月	169.1	172.8	3.7	102.2%
12月	63.3	72.7	9.4	114.8%
22年 1月	55.5	74.6	19.1	134.4%
2月	103.1	114.5	11.4	111.1%
3月	76.8	95.4	18.6	124.3%
計	2040.0	2,039.8	△0.2	100.0%

## (9) 売上げ比率

長岡センターが順調に売上げを伸ばしており、今後も施設内一般健診・人間ドック等の受診者の増加が見込まれ、目標達成に大きく寄与するものと思います。

(単位:百万円)

(単位:百万円)

20年度	売上高	比率
新潟	1549.7	80.53%
長岡	374.7	19.47%
合計	1924.4	100.00%

21年度	売上高	比率
新潟	1624.9	79.66%
長岡	414.9	20.34%
合計	2039.8	100.00%

## (10) 月別売上高実績(新潟・長岡)

月別売上高実績では、長岡センターが1月以外年間を通して順調に売上げを増やした反面、新潟はスタートの4月、5月と大きく出遅れましたが、後半盛り返し前年比75百万円の増加となりました。

新潟月別売上実績

(単位:百万円)

長岡月別売上実績

(単位:百万円)

新潟	20年度	21年度	増加額	達成率
4月	136.2	134.3	△ 1.9	98.6%
5月	165.6	148.4	△ 17.2	89.6%
6月	196.4	224.5	28.1	114.3%
7月	194.1	205.2	11.1	105.7%
8月	130.1	167.7	37.6	128.9%
9月	157.5	158.9	1.4	100.9%
10月	194.2	182.6	△ 11.6	94.0%
11月	139.3	134.9	△ 4.4	96.8%
12月	56.2	53.8	△ 2.4	95.7%
1月	48.6	57.7	9.1	118.8%
2月	68.5	81.6	13.1	119.2%
3月	63.0	75.2	12.2	119.4%
合計	1549.7	1624.9	75.2	104.9%

長岡	20年度	21年度	増加額	達成率
4月	31.2	34.0	2.8	109.0%
5月	33.7	35.4	1.7	105.1%
6月	41.9	45.2	3.3	107.8%
7月	43.0	48.2	5.2	112.0%
8月	34.8	37.3	2.5	107.2%
9月	38.2	41.1	2.9	107.7%
10月	42.5	46.9	4.4	110.4%
11月	32.7	38.0	5.2	116.0%
12月	14.9	18.9	4.0	127.1%
1月	17.7	16.8	△ 0.8	95.2%
2月	25.8	32.8	7.0	127.1%
3月	18.3	20.2	1.9	110.3%
合計	374.7	414.9	40.1	110.7%

### 3. 管理・その他部門

#### (1) プライバシーマーク

- 21年4月 監査年間計画書作成  
教育研修計画、全職員確認習得度テスト計画
- 21年5月 個人情報保護委員会兼倫理委員会の開催
- 21年10月 全職場集合教育の実施
- 21年12月 全職員習得度確認テストの実施
- 22年2月 平成21年度監査の実施

#### (2) 機関誌Kenko

- 21年9月 第13号発行

- 特集 腹部臓器の仕組みと病気(第I回)  
「謎の臓器」脾臓  
(財法)健康医学予防協会常勤顧問  
新潟大学名誉教授  
石原 清
- 骨粗鬆症 骨・・・ほねのお話  
背骨の骨折(骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折)について  
(医法)愛広会 新潟リハビリテーション病院 院長  
山本 智章
- 肩こり予防 現代人の健康体力づくり(第13回)  
上月 篤子
- 健康企業紹介 いきいき健康企業  
株式会社 植木組
- 随 想 インフルエンザの早期対応を望む  
(財法)健康医学予防協会 評議員 大浦 寿郎

22年3月 第14号発行

特集 腹部臓器の仕組みと病気(第Ⅱ回)

「五臓六腑に入れなかった臓器 膵臓」

(財法)健康医学予防協会施設長

新潟大学名誉教授

石原 清

骨粗鬆症 骨・・・ほねのお話

「子供たちのスポーツ障害の原因と対策について」

(医法)愛広会 新潟リハビリテーション病院 院長

山本 智章

腰痛予防と姿勢づくり 「現代人の健康体づくり」(第14回)

上月 篤子

随 想 私の人生『健康法』

(財法)健康医学予防協会 評議員 黒澤 廣

## 4. 理事会および評議員会(平成21年度開催分)

### (1) 定例理事会

開催日 平成21年5月30日(土曜日)  
開催場所 新潟市中央区笹口1-1  
チサンホテル&コンファレンスセンター新潟4階 弥彦の間

議案 第1号議案 平成20年度事業報告並びに決算報告承認に関する件  
第2号議案 理事及び監事の選任並びに理事長、専務理事、常務理事互選に関する件  
第3号議案 退任理事退職金支給に関する件  
第4号議案 役員報酬規程に関する承認の件  
第5号議案 平成21年度補正予算編成の件  
第6号議案 長岡健康管理センター駐車用地購入の件、並びに長期借入金に関する件  
上記全議案可決

### (2) 定例理事会

開催日 平成22年3月6日(土曜日)  
開催場所 新潟市中央区下大川前通3ノ町2230番地  
ウォーターフロント&ナイスビュー 新潟グランドホテル5階 千秋の間

議案 第1号議案 平成22年度事業計画並びに収支予算案承認の件  
上記全議案可決

### (3) 定例評議員会

開催日 平成21年5月30日(土曜日)  
開催場所 新潟市中央区笹口1-1  
チサンホテル&コンファレンスセンター新潟4階 弥彦の間

議案 第1号議案 理事及び監事選任の件  
第2号議案 議事録署名人選任の件  
第3号議案 平成20年度事業報告並びに決算報告承認に関する件  
第4号議案 退任理事退職金支給に関する件  
第5号議案 役員報酬規程に関する承認の件  
第6号議案 平成21年度補正予算編成の件  
第7号議案 長岡健康管理センター駐車用地購入の件、並びに長期借入金に関する件  
上記全議案可決

### (4) 定例評議員会

開催日 平成22年3月6日(土曜日)  
開催場所 新潟市中央区下大川前通3ノ町2230番地  
ウォーターフロント&ナイスビュー 新潟グランドホテル5階 千秋の間

議案 第1号議案 平成22年度事業計画並びに収支予算案承認の件  
上記全議案可決